

●一般質問や要望等により前進した志木市の事業展開

～令和4年度事業より～

★防犯カメラ事業の拡充

「犯罪に強いまち志木」のスローガンのもと、犯罪抑止の取組を更に強化し、市民が安全で安心して生活が送れるよう、防犯カメラの増設に向けて、設置場所の選定と工事に必要な現地調査を実施します。

(市民活動推進課、令和4年度予算 660,000円)

★産婦健康診査助成事業の導入 ※新規事業

子育て家庭における経済的負担の軽減を図るとともに、医療機関から報告される産婦健康診査の結果を活用し、新生児訪問等を行うことにより、的確な状況把握による情報・支援を届けることで、育児環境の改善、さらには10人に1人が発症すると言われている産後うつ病の早期発見や予防につながります。(健康増進センター、令和4年度予算 3,450,000円)

★働く世代の健康づくり事業の拡充

20歳代から40歳代の働く若年世代の健康づくりを目的として、民間事業者と連携した「健康貯筋スタートプログラム」アウトドアヨガ事業の実施会場に「いろは親水公園」を新たに加えることで、宗岡地区の方も参加しやすい環境を整備します。

(健康政策課、令和4年度予算 1,122,000円)

★水泳授業委託の充実

民間のプールを活用した水泳専門のインストラクターによる授業について、市内全8小学校に拡充して実施することで、児童・生徒の泳力向上につながります。

(学校教育課、令和4年度予算 42,000,000円)

※施政方針でも現状の3校→全8小学校で実施となることが示され、質問も行いました(中面ご参照)。

※新たな施策などは、「しきの会 会派レポート」、志木市ホームページの「令和4年度志木市予算及び事業概要説明」をご参照ください。



令和3年、設置が完成した防犯カメラを確認するいろは商店会の吉川会長(右)と



志木市議会議員 岩下りゅう

討議資料

3号
2022年春

市政レポート

発行/岩下 隆

〒353-0004 志木市本町3-2-27

TEL.048-486-6138 FAX.048-471-3240 Eメール info@iwashita-ryu.club

経歴

昭和40年8月 志木市生まれ(56歳)
志木小、志木中、埼玉県立川越高校、法政大学経済学部卒、
令和2年4月、志木市議会議員初当選(現在1期目)、
総務厚生常任委員会委員長、志木地区衛生組合議会議員、
志木市議会の会派「しきの会」所属
(有)ニュータイムス社 社主
志木市商工会理事、商工会青年部OB、いろは商店会副会長、
前志木市廃棄物減量化資源化等推進審議会委員長など



岩下りゅう
Facebook
でも発信中!

好きです志木市! 街づくり 人づくり

●防犯カメラの設置 ～安心・安全な街づくりに一歩前進!～

新型コロナウイルスの感染被害を受けられた方々へお見舞い申し上げます。また、2月に勃発しましたウクライナ紛争で生命・財産を奪われた方々へ、胸が締め付けられる思いを感じ、哀悼の意と衷心よりお見舞いを申し上げます。

また、コロナ禍で医療・介護・福祉関係者の皆様におかれましては、約2年半もの長きに渡り、日々ご尽力をいただいていることに感謝申し上げます。

さて、令和4年3月議会で総務厚生常任委員会の委員長を仰せつかりました。同委員会では、一般会計のうち歳入に関することをはじめ、総合行政部、総務部、福祉部、子ども・健康部、市長公室、会計課などに関することなど、幅が広く重責でございますが、活発な議論と円滑な委員会進行が出来るよう、努力して参ります。

また、令和3年度を振り返ってみると、私の公約の一つでもある、防犯カメラの設置について、計10基(いろは商店会)が本町通りで稼働開始し、志木市が120基設置しております防犯カメラもさらに拡充していくことが決まりました。

いろは商店会の防犯カメラにつきましては、平成27年度の北朝霞の商店会が設置した事業を視察し、商店会の方からレクチャーを受けて以来、平成30年度に6基、そして令和2年度に4基が設置され、その後令和3年に電力関係等の調整があり、計画が完了しました。コツコツと積み重ねてきた努力がようやく実りました。

朝霞県土整備事務所のご担当者、鈴木県議、市役所の職員の方、工事及び電力の協力者の方々にたいへんお世話になり、紙面を借りて感謝を申し上げます。引き続き、安心・安全な志木市となるよう尽力して参ります。



香川市長と市の事業についてアイデアや意見交換

TOPICS

新型コロナウイルス感染症対策

■志木市50%プレミアム付き商品券を5月に申し込み開始!(3回目)

志木市地域経済応援プレミアム付商品券を令和4年度も発行!
1冊=1万円で、額面1万5千円(プレミアム率50%) 1人あたり3冊まで
※詳細は広報しき5月号等で告知、6月抽選、8月~12月まで使用可能予定



※イメージ

■ウィズコロナ時代における公立小・中学校感染症対策の拡充

市内小・中学校における感染症対策用品の充実を図ります。また、宿泊学習や修学旅行を予定している児童・生徒や教職員を対象に、抗原検査キットを配付し、検査が可能な環境を整えることで、安全安心に学校行事へ取り組むことができるように支援します。

■田子山富士150周年・吉田胎内130周年記念事業!

今年は、国の重要有形民俗文化財「志木の田子山富士塚」の築造150周年と、世界文化遺産である富士山の構成資産「吉田胎内樹型」の開基130周年を迎えます。そこで、日本の宝、世界の宝を守り、広く発信していくために7月2日「山開き」の日、記念イベントや7月3日の「記念講演会」「シンポジウム」、市役所新庁舎では「記念パネル展示」なども行われます!(主催/田子山富士保存会、志木市観光協会を中心とした実行委員会)



桜が美しい田子山富士塚

岩下りゅう公式ホームページもご覧ください!

※お問い合わせはホームページよりお願いいたします。

公式HP <https://iwashita-ryu.club/>

ぜひご覧ください!



市政の主役は市民です!

1年間の成果についてご報告

●令和3年4月、本町5丁目の市道、歩道と車道の境の段差により、子どもが乗った自転車などの転倒が数多く発生したため志木市が補修整備指導。



補修前

補修後

●令和3年9月、本町6丁目の志木駅脇のアンダーパス手前歩道と車道のポールが破損したため志木市により補修。



補修前

補修後

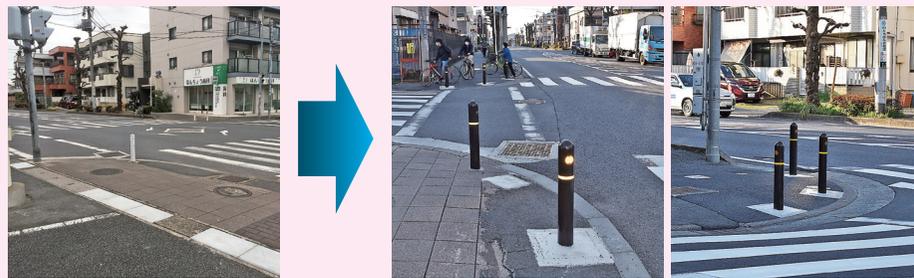
●令和4年2月、駅前バス通りから入った江戸道のカーブミラーの見通しが悪いため、車のすれ違いが困難になるケースが多い状況だったため、大きなカーブミラーの設置。手前に注意喚起の看板を志木市が設置。



補修前

補修後

●令和4年3月、小学校の通学路で交通指導員の方からも通学時に信号待ちスペースが狭く危険との指摘があったため、拡張を予算要望。土地の確保はすぐには出来ないため、各コーナーの車道との境にポールを志木市が設置。



補修前

補修後

- い いまち志木、人にやさしいまちづくり
- わ くわくする教育！ あったかい子育て！
- し きに住んで、心身健康
- た のしく元気、商工建設サービス業&農業



令和3年度の一般質問について自己評価

私は、市の守備範囲外など実現性のないことを質問テーマとせず、**政策の実現・課題解決**に力点をおいて毎回チャレンジしています！

議会月	質 問	実現性の高い答弁	各月の実現度※
6月	<ul style="list-style-type: none"> ●選挙について ●期日前投票等の促進等 ●防災力の向上をめざして ●水害への対策強化について ●個人情報の保護について ●移動しやすいまちのための交通手段等について 	選挙公報の全戸配布について、約3万6千部を4日間かけて配布し、前回と比較しわずかに投票率が向上したことから、一定以上の効果はあったと考えている。期日前投票について、感染拡大防止のため国も積極的に期日前投票を奨励。期日前投票の有効利用については、投票率の向上に寄与できると考えているので、期日前投票所のアナウンスをより工夫し、有権者へ周知を図っていく（選挙管理委員会委員長）。	△
9月	<ul style="list-style-type: none"> ●東京オリンピック・パラリンピックの効果と活用について ●新庁舎の水害対策について ●中心市街地活性化計画について 	議員ご提案の夢にチャレンジする力を育む取組については、志木市の事業である「ふれあい講演会」や、埼玉県の実業である「夢と豊かな心をはぐくむ講演会事業」等を活用し、スポーツ選手OBや地域で活躍する人材の講演を、小・中学校で実施している。JOCオリンピック教室については、来年度、中学校からの要望があれば応募を検討していく（教育政策部長）。	○
12月	<ul style="list-style-type: none"> ●学校給食について ●エンジョイ・ウォークブルなまちをめざして ●害虫・害獣対策について ●脱炭素への取組について ●産後うつや産後の育児環境に対応する取組について 	中央通停車場線の電線地中化に伴い、歩道上に設置されている配電用地上機器（トランスボックス）を活用する取組は、中心市街地をウォークブルにするものひとつと捉えている。市としても事業化につぎまして前向きに議論し、多くの人に支持や理解を得られるような事業を実施したいと考えている（市民生活部長）。	◎
3月	<p>施政方針に対する質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子育て世代定住プロジェクトにおける民間プールを活用した水泳授業について ●脱炭素への取組について ●国民健康保険について ●健康経営の取組について ●防災力の強化の取組について 	<p>近年では、猛暑により水泳授業が実施できない、さらに、小・中学校12校のプール施設の維持費用が1年間でおよそ6,500万円必要となるという課題を総合的に解決するとともに、長期的な視点で児童の泳力の向上を図ることができる水泳指導のあり方について議論を重ねてきた結果、年間を通して天候に影響されることなく、屋内温水プールという子どもたちにとって快適な環境で水泳授業が安定して実施できる民間水泳事業者による水泳指導が、最も効果が見込まれる方法であるとの結論に至った。令和4年度からは、すべての児童が小学校を卒業する時には、小学校学習指導要領に水泳運動の目標として例示されている、クロールで25m泳げることを目指し、民間水泳事業者による水泳指導を市内全小学校へ、拡充していく（市長）。</p> <p>議員ご提案のとおり、令和3年度に完成した地区別防災ガイドブックを利用し、マイ・タイムラインの作成につなげるなど、防災講座のメニューのひとつとして、取り入れていく。次に、家族内において防災を考えてもらうきっかけ作りとして、防災講座の内容をYouTubeなどのSNSに展開することは、学習した内容を振り返ることや、実際の授業内容を確認することができるため、非常に有効であると考えている。一方で、条件等を整理する必要があるため、慎重に判断していく（総務部長）。</p>	○

※実現度…私の質問意図からあくまで自己判定したものでありますので、答弁の質とは関係ありません。また、中長期的な取組も視野に入れております。